

最新のIT政策を講演

第二回 地域情報化セミナー

第二回地域情報化セミナーが十一月十五日、約四百人が参加しカルチャープラザ仁多で開催されました。

奥出雲町では、一体感を醸成し町民の融和を図るため、全町的なケーブルテレビ、超高速インターネット網等の整備を、最優先に取り組んでいます。

今回のセミナーは、国の地域情報化政策、島根県でも来年から始まる地上デジタル放送等について理解を深めよう

と企画されました。

第一部は、国の情報政策を統括する総務省情報通信政策局長の竹田義行氏が

「ユビキタスネット社会を実現する地域情報化」をテーマに国の支援体制のもと整備された安心、安全な公共

ネットワークを使い、現在では医療、教育、防災など幅広い分野においてIT技術が活用されていることを説明されました。

竹田氏は、本町に二回目の来町になります。今回もDVD映像等を使い、分かりやすく講演して頂きました。

第二部では、歌手・元NHKアナウンサーの吉川精一氏が「デジタルテレビ放送開始！テレビは楽しい！」と題して、高画質、高音質また双方向性のある



▶ 講演される竹田情報通信政策局長



▲ 自慢ののどを披露する吉川氏

デジタルテレビの魅力について、分かりやすい・楽しいトークと歌で講演されました。

この中では、自身が担当された「NHKのど自慢」の裏話やエピソードも披露して頂きました。

今回のセミナーは「ジョーホーにた」から生放送で各家庭に中継し、またシルバークソコン倶楽部「福寿草」の協力により、まめなかねットで会場からインターネット配信を行い全国にPRしました。

第57回 人権週間

町内で多くの啓発活動

毎年十二月四日から十日までの一週間は、人権意識の普及と高揚を呼びかける「人権週間」と定められています。

町内でも法務局、町の人権擁護委員の方と協力し、各種の啓発活動を行いました。

十二月五日には、広報車による啓発、六日には、事業所への人権啓発訪問と山下助役を一日人権擁護委員に委嘱し、関係者と共に町内のスーパー等で、啓発パンフレットと特産品の「椎茸」を配り、人権問題に対する理解を呼び

かけました。

また十二月七日には、八川小学校に雲南人権擁護委員協議会から人権の樹・ハナミズキ、松江法務局雲南支局から記念品が贈られました。

八川小学校では、人権について理解を深めるため、人権の花の栽培やアンケートなどの活動を全校的に行っています。

これを機会に、私たちもお互いの人権について考え、明るい豊かな社会をつくりましょう。



▶ 多くの方に啓発活動を行いました



▲ 記念品を受け取る児童代表